

川越高校卒業生の医療関係者の会である第6回初雁医会が33名の先生が参加され、川越プリンスホテルにて令和5年8月26日に開催された。まだ、残暑の大変厳しい時での開催となった。

第一部では、廣澤信作（高21）が司会を担当し、総会の開催にあたり、当会会長の小川郁男先生（高18）の開会の挨拶で始まった。野崎信行先生（高28）から会則の変更・役員の変更・会計報告が行われた。山岸業弘先生（高27）から監査報告があり、新役員の就任等を含めすべて承認された。次に、小川会長の講演会となり、講演テーマは、「極地の夢」であった。日大北極遠征隊としての北極点への初到達の競争や、第21次南極観測隊としての南極での生活の講演がありました。当日は、「第一巻 南の極地への旅 語りつぐ極地のロマン～自然に学び人と生きる～」や、「第二巻 北極点への挑戦 語りつぐ極地のロマン～自然に学び人と生きる～」等の本も展示された。

その後、全員の集合写真の撮影となった。

懇親会は、瀬川豊先生（高21）の司会で、埼玉県初の日本医師会会長となられた松本吉朗先生からのビデオメッセージが披露された。来賓の挨拶では、川合善明川越市長（高21）、藤本正人所沢市長（高32）より、それぞれのお立場からご挨拶をいただいた。来賓紹介では、砂川裕紀埼玉県副知事（高29）、金子保夫同窓会事務局長（高25）、村田暁俊埼玉県医師会事務局長（高33）が紹介された。谷俊治先生（中48・高2）に乾杯の音頭をとっていただき、和やかな懇親会となっていった。一線の医療現場で活躍する会員相互の情報の交換や学生時代の話に花が咲き、楽しい会が進んだ。会の半ばで、山岸先生と清水俊男先生（高29）による参加の先生方へのインタビューがあり、近況報告などをしていただいた。仕事や遠方のため出席できなかった先生方の返信葉書の近況報告もまとめられて当日配布した。学校紹介のブルーレイを映し元気な川高生を見て、昔の自分を重ね合わせ懐かしんだ。最後に校歌・応援歌の斉唱を行った。

閉会の辞を松本雅彦先生（高25）にさせていただき、次回の再会を約束し散会とした。（令和5年8月末現在）

